

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	43000	コミュニティ広場等管理費	予算科目	会計	一般	款	10	項	5	目	2	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	6		スポーツの振興	根拠法令										
	施策の展開	14		スポーツ施設の維持管理	戦略事業	66									
	施策の展開				戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		市民がスポーツに親しめる環境として、市有地等をスポーツ施設として貸出及び維持管理を行う。 【施設概要】 1. コミュニティ広場：①仁玉コミュニティ広場(市有地 1箇所 管理委託)、②仁玉スポーツ広場(土地開発公社が道路代替地として取得している土地 1箇所 利用者による管理、③新川スポーツ広場(土地開発公社が環境施設として取得している土地 1箇所 環境課から移管され維持管理) 2. 足川浜軽スポーツ場(借地 1箇所 利用者による管理) 【利用手続】1. コミュニティ広場 利用予約必要 2. 足川浜軽スポーツ場 利用予約不要 【利用料】無料	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・仁玉スポーツ広場は平成12年から、スポーツ広場は平成17年から、土地開発公社所有地の有効活用のため、スポーツ施設として暫定利用することとなった。・スポーツの利用ができる市有地(市有地及び借地)を、貸出できるよう整えた。		・団体による、継続した利用が増えた。 ※土地開発公社所有地活用の見通しが、取得時と変わってきた。	・利用者から、仁玉スポーツ広場について、快適に利用できる施設の整備を求める声がある。 ・利用者から、施設の維持補修について要望がある。(例年：除草作業等)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円	② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円	事業費	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.消耗品費 223:フェンス金具 草刈り機部品	1.国庫支出金 0	費目内訳	1. 消耗品費	40	34	36	22	40
2.光熱水費 138:水道 電気	2.都道府県支出金 0		2. 光熱水費	67	67	131	128	138
3.修繕料 715:新川スポーツ広場散水設備等修繕	3.地方債 0		3. 修繕料	79	49	51	715	70
4.委託料 158:維持管理委託	4.その他 0		4. 委託料	120	120	158	158	254
5.その他 228:備品等			5. その他	124	150	152	228	174
		事業費計 (A)		430	420	528	1,261	676
		財源	1. 国庫支出金					
			2. 都道府県支出金					
			3. 地方債					
			4. その他					
			5. 一般財源	430	420	528	1,261	676

前年度増減理由	新川スポーツ広場の散水設備等修繕要望が平成26年度にあり、平成27年度に実施し完了した。(ソフトボール関東大会のため)
---------	---

従事職員数	常時 1人	最大 人	× 日 = 延べ 0人
-------	-------	------	-------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

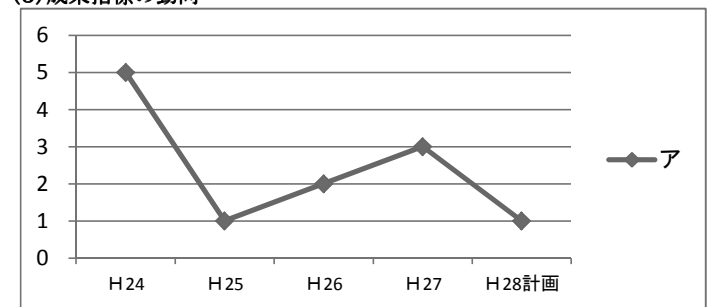
① 主な活動	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
27年度実績(27年度に行った主な活動)							
施設維持管理(新川スポーツ広場の散水設備等修繕、除草作業、敷地内の砂の補充)	ア 仁玉コミュニティ広場利用日数	日	117	117	117	120	119
	イ 仁玉スポーツ広場利用日数	日	117	117	117	120	119
	新川スポーツ広場利用日数		117	117	117	120	119
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象意図							
スポーツを行う市民	ア 維持管理に関する要望件数	件	5	1	2	3	1
安全で快適に施設を利用できる。							
対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				
		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			④
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果				
		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)	各施設ともに使用料収入が無いため現況以上の予算増は不可能。経年劣化による修繕必要箇所は増加しているため、優先順位の見極めが重要となる。
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 数値減=成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	新川スポーツ広場の散水設備等修繕要望が平成26年度にあり、平成27年度に実施し完了した。(ソフトボール関東大会のため)
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期 内容 平成28年度末まで 仁玉コミュニティ広場については、一塁側フェンス補修。仁玉スポーツ広場については、仮設トイレ及び道路側フェンスの再整備。新川スポーツ広場については、道路境界杭の補修。
今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
平成28年度末まで	各施設の維持管理と修繕箇所への早期対応。